

令和 5 年 9 月 1 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホームブランチアゼリア

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 5 年 8 月 26 日

開催場所…ブランチアゼリア 2 階多目的室

出席者

事業所	5 人	利用者	1 人
利用者家族	0 人	地域代表者	1 人
松江市職員	0 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	1 人	その他 ()	人

議事

活動状況報告

・グループホームブランチアゼリア入居者の状況

7/3 1 名入居 (要介護 2)

7/20 1 名退所し松江センターアゼリア入所 (要介護 2)

7/30 1 名ご逝去にて退所 (要介護 4)

8/8 1 名入所 (要介護 1)

8/28 1 名契約予定

8/26 現在入居者状況

要支援 2 : 1 名

要介護 1 : 4 名 要介護 2 : 6 名 要介護 3 : 3 名 要介護 4 : 2 名 要介護 5 : 1 名

平均介護度 2.2

待機者 3 名 : 今回の入居は待機者から 2 名の入居となった。空室が出来ているが現待機者は入居される方がおらず、8 月に新規問い合わせのあった方と契約予定となっている。

・活動状況

行事活動 7 月 : 七夕会

8 月 : 納涼祭、合同水害避難訓練

・アクシデント発生 7・8 月 0 件

・インシデント発生 7・8 月 35 件

内訳 : 外傷 18 件、転倒 4 件、薬剤関連 2 件、異食 2 件、離脱 2 件、

喧嘩・暴力 1 件、返却ミス 1 件、環境衛生 2 件、その他 1 件

7 月、8 月共に外傷、打撲発見のインシデントが多くあがっていた。入浴の際の発赤、掻き傷の発見、移乗の際フットレストに接触しての内出血、爪切り時の皮膚損傷の報告が多かった。

活動量の多いお客様の離設未遂もあったが、事務所職員、併設 DS 職員が気づき離接発生には至っていない。

薬セット時のエラー、異食危険がある方の前に BOX ティッシュを置いていたことによる異食報告等ヒューマンエラーも数件挙がっている為、チェック体制や声掛けによりヒューマンエラー防止に取り組んでいる。

- ・活動状況報告

行事や日々の活動の様子をスライドショーにてご説明

- ・ナナクサ薬局 薬剤師犬山さんを招き「薬について」の勉強会実施

意見交換

- ・現在面会についてはどのように対応しているか(包括支援センター職員より)

→5/8 の 5 類引き下げ以降、事前予約制で施設入館前に抗原検査での陰性確認、体調チェックシートの記入にて体調確認を行って、グループホーム内での面会が行えるようにしている。地域密着型事業として出来る限り面会をコロナ禍以前の状態にもどしていきたい。ケアコラボという記録共有システムを導入しており、登録しているご家族様は画像や映像付きの介護記録を閲覧することで、面会に直接来ることが出来なくても日々の生活が分かるようになっている。(管理者)

- ・地域のナナクサ薬局さんと連携が取れているのは良いことだなと感じました。(包括支援センター職員)

→普段から薬の相談を行っています(看護職員)

- ・行事予定の運動会はどんな事をされるのですか?(地域代表者)

→玉入れ、風船飛ばしなど座った状態のまま行えるものを行う予定です(介護職員)

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	☐
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	☐